

新型コロナウイルス感染症患者（4例目）の発生について（第1報）

令和2年3月27日（金）、広島市内の医療機関から、新型コロナウイルス感染症を疑う患者が受診している旨の連絡があり、本市衛生研究所で検査を実施したところ、3月28日（土）、陽性であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年代：50歳代
- (2) 性別：男性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業：会社員
- (5) 症状：発熱、咳、肺炎（現在、症状は安定している。）

2 行動、症状の経過等

- 3月21日（土） 倦怠感があり会社を早退し、以降の出勤なし
夜に39.0℃の発熱
- 3月22日（日） 倦怠感継続。日中は36℃代後半から37℃代後半、夜間は39.0℃の発熱
- 3月23日（月） A医療機関を受診。インフルエンザ陰性
- 3月24日（火）～3月26日（木）
日中は36℃代後半から37℃代後半、夜間は39.0℃の発熱が継続
- 3月25日（水） 食欲不振。
- 3月26日（木） 咳出現
- 3月27日（金） 39.0℃の発熱。保健センターに相談の上、A医療機関を再受診
胸部CT検査の結果、入院を要する肺炎の所見があり、医師が保健センターと協議の上、新型コロナウイルス感染症を疑い、感染症指定医療機関への受診を誘導し入院
検体を採取
遺伝子検査の結果、新型コロナウイルス陰性と判明
- 3月28日（土） 医師が新型コロナウイルス感染症を強く疑い、再度検体を採取
遺伝子検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はない。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。国内では感染者数の増加とともに、感染経路が不明な感染者や集団感染事例が報告されており、さらなる感染拡大が懸念されている。市民の皆様には、引き続き、咳エチケットや手洗いの励行など感染予防対策にご協力をいただきたい。